

令和3年度 《国語》1年「国語総合」シラバス

1 科目・単位・履修学年・区分

国語総合・4単位・1年・必修

2 使用教科書・副教材等

- ①高等学校 改訂版 国語総合（第一学習社） ②新版六訂 カラー版 新国語便覧（第一学習社）
 ③基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版（桐原書店） ④基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版 演習ノート（桐原書店）
 ⑤精説漢文 改訂版（いいずな書店） ⑥常用漢字ダブルクリア 四訂版（尚文出版）
 ⑦わかる・読める・解ける 古文単語 330 三訂版（いいずな書店）

3 教科目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

4 授業方法・形態

一斉授業。講義、作業、発表を中心とする。教科書を用いながら、適宜、副教材や新聞等を取り入れ、生徒の理解力、表現力を伸ばしていく。

5 評価方法

定期考査、臨時テスト、授業態度（音読・発表・発問回答）、課題提出物等を総合的に判断して行う。

6 評価の観点・評価規準

関心・意欲・態度	①国語や言語文化に関する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしているか。 ②課題に積極的に取り組み、また、人の発言をよく聞くとともに、自分の考えを発言しようとしているか。	・授業への出席状況 ・取組態度 ・発言等の意欲と内容 ・ノート点検
話す・聞く能力	①自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じて、筋道を立てて話したり、効果的に話したり的確に聞き取ったりしているか。 ②課題に積極的に取り組み、また、人の発言をよく聞くとともに、自分の考えを発言しようとしているか。	・取組態度 ・発言等の意欲と内容 ・ノート点検 ・定期考査
書く能力	①自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章に書くことができるか。 ②表現に様々な工夫を凝らしたり、推敲を重ねたりしているか。	・意見文 ・読書感想文 ・創作活動 ・定期考査
読む能力	①音読や朗読に取り組んでいるか。 ②自分の考えを深めたり発展させながら、目的に応じて様々な文章を的確に読みとったり読書に親しんだりできるか。	・取組態度 ・発言等の意欲と内容 ・ノート点検 ・定期考査
知識・理解	①古典の基本的な言語事項が理解できるか。 ②漢字や語句に対する理解が広がっているか。 ③表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・漢字等を理解し、身に付けることができるか。	・定期考査 ・小テスト

7 授業計画

月	単元	教材	時数	学習目標
4月	随想（一）	驚くという才能 世界は常に更新されている	2 2	・随想の基本的な流れをつかみ、筆者の視点や考えを理解する。 ・視野を広げ、幅広い問題意識を育てる。
	表現の実践	①資料に基づいて説明する	2	・相手に情報が伝わる説明の仕方を身につける。
	古文	古文の学習 児のそら寝 絵仏師良秀	1 1 2	・古文に親しみを持ち、その特徴に慣れる。 ・古文を解読する上で留意すべき点を理解する。 ・古典文法の基礎知識を身につける。 ・登場人物の置かれた状況を考えその言動や心情を理解する。 ・動詞の種類、活用について理解する。
5月	表現の実践	②スピーチをする ⑧意見を述べる	2 2	・スピーチの仕方を身につける。 ・スピーチするにはどのような準備が必要か、理解する。 ・意見文を書くときの注意点を理解する。
	漢文入門	訓読に親しむ（一） 訓読に親しむ（二）	4	・漢文を学習する上での基本的な事柄について、その原則を知る。 ・例文を通して、漢文を訓読することに慣れる。

6月		訓読に親しむ (三)		・ 訓点や句法について理解し、書き下し文の練習をする。
	小説 (一)	羅生門 旅する本	3 3	・ 短編小説のおもしろさを味わい、鑑賞のしかたを学ぶ。 ・ 優れた描写、効果的な表現を学び、表現力・感受性を豊かにする。
	評論 (一)	水の東西 ものごとば	2 2	・ 二項を対立させて展開する論の進め方を理解する。 ・ 文章の論理的な構成を理解し、筆者の主張を正確に理解する。 ・ 自己と世界を取り巻く関係について、意識的に考える態度を養う。
	表現の実践	③説明文を書く	2	・ 相手に理解してもらえる説明文について理解する。
	随筆を読む	徒然草 つれづれなるままに ある人弓射ることを習ふに (他3編)	5	・ 随筆の読解方法を身につける。 ・ 作者の人間観やものの見方、考え方を読み取る。 ・ 随筆の読みを深めていくことにより、自身の生活を振り返り、観察眼を養う。
7月	故事成語	漁夫之利・狐借虎威・蛇足	3	・ 故事成語を通して、古代中国人の考え方を知るとともに、漢文の日本人への影響に目を向け、漢文学習への興味を持つ。 ・ 故事成語のものと意味と、現在使われている意味との違いについて理解する。
	言語活動	故事成語の由来と意味を調べる		
	詩	鶯のうへ 一つのメルヘン 自分の感受性くらい I was born	4	・ 近代詩・現代詩に親しみ、鑑賞の方法を学ぶ。 ・ 近代詩・現代詩の技法について学ぶ。 ・ 想像力を豊かにする。
	表現の実践	④創作をする	2	・ 情景や心情の描写を取り入れた、文学的文章を創作する力を身につける。 ・ 詩、短歌、俳句、小説などを書いてみる。
8月		読書感想文		・ 読書に親しみ感想文を書く。
9月	随想 (二)	交換はうれしい わからないからおもしろい	2 2	・ 随想を読み、作者の視点・洞察力・考えを読み取る。 ・ 視野を広げ、幅広い問題意識を養う。
	物語を楽しむ	竹取物語 かぐや姫のおひたち かぐや姫の嘆き	3	・ 物語の読解方法を身につける。 ・ 登場人物の関係を理解し、心理描写を的確に読み取る。 ・ 伝奇物語と歌物語のそれぞれの特徴を把握する。 ・ 「求婚譚」を読み、『竹取物語』の奥行きを感じ取る。 ・ 読み取った情報を取捨選択してまとめる力をつける。 ・ 調べたことを適切に文章にまとめる。
	言語活動	『竹取物語』の求婚譚を調べる		
	伊勢物語 芥川・東下り・筒井筒	4		
		大和物語 沖つ白波	2	
10月	古代の史話	完璧 先従隗始 臥薪嘗胆	2 2 2	・ 三つの史話を読み、やや長い漢文を読解する基礎力をつける。 ・ 登場人物の人間性や心理を読み取り、そこに描かれている世界が現代にも通じる普遍性を持つことを理解し、漢文への興味・関心を深める。
	小説 (二)	夢十夜 鏡	3 2	・ 小説を読むおもしろさを味わう。 ・ 小説の主題を読み取る言語感覚を磨き、新しい発見を自覚する。
	説話を読む	沙石集 古今著聞集 十訓抄	1 1 1	・ 説話を読んで、話のおもしろさを理解する。 ・ 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 今様における修辞技法を理解する。
	表現の実践	⑤手紙の書き方	2	・ 目的・相手に応じた手紙の書き方を身につける。
	評論 (二)	「文化」としての化学 ネットが崩す公私の境	4 4	・ 論理的な文章を読解する技術を習得する。 ・ 現代の諸相に対して、自らの考えを持つ態度を養う。
11月	日記を読む	土佐日記 門出・亡児・帰京	4	・ 日記の読解方法を身につける。 ・ 日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。
	漢詩の鑑賞	春暁 (他8編)	5	・ 唐詩に多い三つのテーマを知り、中国の詩人の自然観・人生観について考える。 ・ それぞれの詩について、詩形・押韻・構成などの監視のきまりを理解する。 ・ 唐代の代表的詩人について基礎知識を得る。
	軍記物語を読む	平家物語 祇園精舎・木曾の最後	4	・ 軍記物語の読解方法を身につける。 ・ 中世文学の語法や表現の特徴、思想や人間像について理解する。
12月	表現の実践	⑥話し合いをする	2	・ 問題解決につながる話し合いの方法を身につける。

	短歌・俳句	その子二十 こころの帆	4 4	・短歌の形式や表現方法、鑑賞方法を学ぶ。 ・俳句の形式や表現方法、鑑賞方法を学ぶ。
1月	評論（三）	「間」の感覚 自分の身体	3 2	・文章の論理展開の構造を把握し、筆者のいたいことを読み取る。 ・自分を取り巻く世界を相対的に見る意識を養う。
	中国の思想	論語	2	・孔子の思想について、その概要を理解する。 ・思想を学習することで、思考力・批判力を養う。
	表現の実践	⑦ディベートで討論する	2	・ディベートの方法を身につける。 ・より説得力のある討論となるよう工夫する。
2月	和歌	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	2 2 2	・和歌の持つリズムや調べを味わい、和歌の鑑賞方法を身につける。 ・和歌集の特徴、修辞について理解する。 ・読み手の心情に即して、古典和歌のイメージを捉える。
	言語活動	古典の和歌を現代の言葉で 書き換える	2	・現代短歌への書き換えの実作を通して、和歌の世界の奥深さと 創作の楽しさを知る。
	俳諧	奥の細道 旅立ち・平泉・立石寺	3	・俳諧紀行文の特徴を理解し、作者の旅と創作への思いを捉える。
3月	小説（三）	城の崎にて 空き缶	3 3	・想像力的感性と人間的知性への貢献として小説の問題を考える。 ・現在・過去という深みのある構造の中で人間を捉える視線を養う。
	説話の世界	桃花源記	3	・漢文の長文の訓読に慣れる。 ・陶潜の理想とした社会について考える。
	表現の実践	⑨調査をもとに報告する	2	・報告文を書くときの注意点を理解する。 ・客観的なデータを有効に活用して報告文を作成する。
	評論（四）	デザインの本意 グローバリズムの「遠近感」	2 2	・論理的な文章を読解する技術を習熟する。 ・自然で自明なものを現代的な視点で捉え直す思考や視野を拡大 する。
	言語活動	情報探索の方法と実践	2	・効果的な情報収集のしかたを学び、実践する。